

行政評価(施策評価シート)

1 基本項目

基本目標3	ふれあいと活力のあふれるまち
基本施策1	ともにつくる住みよい地域社会の実現
施策17	基地対策
基本方針	
横田基地に起因する航空機騒音などの問題の解決に向けて、基地周辺自治体と連携し、国及び米軍等へ要請するとともに、市民への情報提供を行っていきます。	

2 施策を構成する事務事業の実施・評価結果

No	事業名	平成27年度実施結果			評価(所管課長)				指標に係る重点事務事業
		決算/円	執行率	進捗状況	妥当性	効率性	有効性	方向性	
1	横田基地に起因する諸問題についての国及び米軍等への要請	60,000	100.0%	計画どおり完了	○	○	○	A	*
2	特定防衛施設周辺対策事業の充実要請	95,160	90.6%	計画どおり完了	○	○	○	A	
3	横田基地関連情報の収集	-	-	計画どおり完了	○	○	○	A	
4	航空機騒音、航空機飛行高度などに関する測定	-	-	計画どおり完了	○	○	○	A	
5	横田基地に関する市民への情報提供	-	-	計画どおり完了	○	○	○	A	

3 施策評価

① 施策の評価

横田基地に起因する航空機騒音などの問題の解決に向けて、横田基地周辺自治体と連携して、市民の安全確保、航空機騒音等の軽減、米軍機の飛行高度測定の実施などについて、国や米軍に対して求めてきた。

横田基地においては、過去には米軍機による事故、米軍人等による不祥事などが発生しているほか、基地内で行われる訓練や航空機による低空飛行、編隊飛行訓練に加え、頻繁に人員降下訓練が実施されており、騒音などに伴う市民生活への影響が存在していることから、横田基地に起因する問題の解決に向け、適時適切に対応するとともに、市民へ情報を提供してきた。

② 今後の方向性(改善への取組み等)

航空機騒音をはじめとする市民生活に関係する諸課題の解決に向けた取組みを推進していくとともに、横田基地が所在することによる周辺自治体への基地交付金や各種補助制度の拡充などを国へ要請していく。

人員降下訓練等の増加や低空飛行などに起因する航空機騒音の増大、それに伴う環境への負荷など、市民生活の安全と安心を守る立場として、基地が所在することに伴う市民生活への影響の把握に努めつつ、横田基地の整理・縮小・返還に向け、国や米軍に対する要請等の取組みを推進していく。

また、国や米軍に対し、横田基地に関する迅速な情報の提供と地元住民に対する説明を求めていくとともに、広報紙や市公式ウェブサイトなどを活用した市民への情報提供に努めていく。

平成27年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	企画総務部			企画政策課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
1	横田基地に起因する諸問題についての国及び米軍等への要請	昭和 58 年	継続	自治事務	直営	
	01	年				
	02	年				
	03	年				
	04	年				
	05	年				
関連課						
基本目標	3 ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	17 基地対策	事業番号	1	

2.事業の概要

航空機騒音や事故など、横田基地に起因する諸問題について、横田基地に関する東京都と横田基地に関する周辺市町連絡協議会や横田基地周辺市町基地対策連絡会等を通じ、国及び米軍等に要請します。

根拠法令

条例

要綱等

3.成果指標

横田基地に起因する航空機騒音などの問題の解決に努める。

4.活動指標

Plan【計画】	平成26年度(現況)	3か年計画		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業内容 事業量等	東京都と横田基地に関する周辺市町連絡協議会などを通じた安全確保・騒音防止等を含めた横田基地の整理・縮小・返還要請の実施	東京都と横田基地に関する周辺市町連絡協議会などを通じた安全確保・騒音防止等を含めた横田基地の整理・縮小・返還要請の実施	東京都と横田基地に関する周辺市町連絡協議会などを通じた安全確保・騒音防止等を含めた横田基地の整理・縮小・返還要請の実施	東京都と横田基地に関する周辺市町連絡協議会などを通じた安全確保・騒音防止等を含めた横田基地の整理・縮小・返還要請の実施

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成26年度(現況)		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1 人	450 H	2 人	250 H	2 人	250 H	2 人	450 H
主事・主任職	0 人	0 H	0 人	0 H	0 人	0 H	0 人	0 H

②総事業費

事業費の内訳 (単位:千円)	平成26年度(現況)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費	60	60	60	60
人件費(係長職)	2,255	2,520	2,520	4,536
人件費(主任・主事職)	0	0	0	0
総事業費(合計)	2,315	2,580	2,580	4,596
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0
受益者負担額	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0	0
起債	0	0	0	0
一般財源(人件費含む)	2,315	2,580	2,580	4,596
財源内訳(合計)	2,315	2,580	2,580	4,596

③コスト計算

ア 市民 56,412 人における1人あたりのコストは、 46 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果物 の 出来高 のコストは 円
 ※ 対象者: 市民

Do【実行】 【進行管理】

6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、5.投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか

※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

東京都と横田基地に関する周辺市町連絡協議会や、横田基地周辺市町基地対策連絡会において、安全確保・騒音防止等に関する米軍や国に対する要請等を実施した。
平成29年度以降段階的にCV-22オスプレイを横田基地に10機配備するとの通告を受け、地元5市1町と連携した対応を行っている。

②投入実績

決算の内訳 (単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	60,000	0	60,000	60,000	100.0%

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

前年度(今までの状況)	今年度(どういう状態になったか)
米軍の運用状況によって大きく左右されるものであるが、平成26年度(23件)は前年度に比べ、騒音に関する苦情件数は増えている。	平成27年度の航空機騒音に関する苦情件数は、28件となっており、平成26年度に比べて若干増加する結果となった。

②成果指標(目標値)を数値化している場合

対象者(物)	本年度:目標値	本年度:実績値

Check【評価】

8.評価

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○・・・適切なもの

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	評価のポイント	項目の着眼点	課長評価
妥当性 (必要性)	・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か ・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか	施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか	○
効率性 (手法)	・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか	成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか	○
有効性 (成果)	・事業の目標が達成されているか	成果又は効果が表れているか	○

②事業評価(今後の方向性についての視点)

【今後の方向性】	高 [妥当性・有効性]	今後の方向性																	
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">↑</td> <td></td> <td style="text-align: center;">↓</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低</td> <td style="text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">B:事業の進め方の改善の検討</td> <td style="width: 50%;">A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討</td> </tr> </table> </td> <td style="text-align: center;">高</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">←</td> <td style="text-align: center;">→</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低</td> <td style="text-align: center;">[効率性]</td> </tr> </table>	↑		↓	低	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">B:事業の進め方の改善の検討</td> <td style="width: 50%;">A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討</td> </tr> </table>	B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当	C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討		D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討		高		←	→		低	[効率性]	A
↑		↓																	
低	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">B:事業の進め方の改善の検討</td> <td style="width: 50%;">A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討</td> </tr> </table>	B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当	C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討		D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討		高											
B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当																		
C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討																			
D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討																			
	←	→																	
	低	[効率性]																	

Action【改善】

事務事業から導かれる課題と今後の方向性

評価(所管課長)

米軍機に起因する航空機騒音の増大やそれに伴う環境への負荷などに対し、市民生活の安心と安全を守るとの視点から、引き続き、国や米軍に対する要請等に取り組んでいきます。

平成27年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	企画総務部			企画政策課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
2	特定防衛施設周辺対策事業の充実要請	不明 年	その他	自治事務(市独自)	直営	
	01	年				
	02	年				
	03	年				
	04	年				
	05	年				
関連課						
基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	17	基地対策	事業番号 2

2.事業の概要

事業内容	公共施設の整備等に向けた防衛補助の拡充について、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会などを通じた国への要請や、防衛補助の採択に向けた交渉に取り組みます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.成果指標

成果目標	横田基地に起因する航空機騒音などの問題の解決に努める。
------	-----------------------------

4.活動指標

Plan【計画】	平成26年度(現況)	3か年計画		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業内容 事業量等	国へ防衛補助等の拡充を要請 (平成27年度補助採択) ・防災行政無線(移動系)整備事業 ・富士見公園改修事業 ・スイミングセンター改修事業	国へ防衛補助等の拡充を要請	国へ防衛補助等の拡充を要請	国へ防衛補助等の拡充を要請

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成26年度(現況)		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	110H	1人	110H	1人	110H	1人	110H
主事・主任職	0人	0H	0人	0H	0人	0H	0人	0H

②総事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成26年度(現況)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費	105	105	105	105
人件費(係長職)	552	555	555	555
人件費(主任・主事職)	0	0	0	0
総事業費(合計)	657	660	660	660
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0
受益者負担額	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0	0
起債	0	0	0	0
一般財源(人件費含む)	657	660	660	660
財源内訳(合計)	657	660	660	660

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果物 の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do【実行】 【進行管理】

6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、5.投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか
 ※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

横田基地に起因する航空機騒音等の問題解決のため、その障害の緩和に資する生活環境施設等の整備費用を国庫補助対象とすべく交渉を進めた。
 27年度は、調整交付金案件として、羽村駅自由通路拡幅等整備事業基金の造成を行い、民生安定施設助成案件として、平成27年度事業として富士見公園改修事業及びスイミングセンター改修事業を実施した。
 また、平成28年度事業として羽村動物公園改修事業の採択を受けている。
 再編交付金案件として、平成27年度は羽村西小学校と保健センターの空調工事のための設計を行うとともに、この工事費用に充当するため、健康で安心して暮らせるまちづくり基金への造成を行った。

②投入実績

決算の内訳 (単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	105,000	0	105,000	95,160	90.6%

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

前年度(今までの状況)	今年度(どういう状態になったか)
採択された事業について、交付申請等の手続きを踏まえ補助金の交付決定に至った。次年度事業について調整等を図り、補助採択を受けることができた。	採択された事業については、交付申請等の手続きを行い、補助金の交付決定に至った。平成28年度事業についても、補助採択を受けることができた。

②成果指標(目標値)を数値化している場合

対象者(物)	本年度:目標値	本年度:実績値

⇒

Check【評価】

8.評価

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○・・・適切なもの

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	評価のポイント	項目の着眼点	課長評価
妥当性(必要性)	・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か ・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか	施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか	○
効率性(手法)	・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか	成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか	○
有効性(成果)	・事業の目標が達成されているか	成果又は効果が表れているか	○

②事業評価(今後の方向性についての視点)

【今後の方向性】	高 [妥当性・有効性]	高 [効率性]	今後の方向性						
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">B:事業の進め方の改善の検討</td> <td style="width: 50%;">A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当</td> </tr> <tr> <td colspan="2">C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討</td> </tr> <tr> <td colspan="2">D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討</td> </tr> </table>	B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当	C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討		D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討				A
B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当								
C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討									
D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討									
	↑	→							
	↓								
	低								

Action【改善】

事務事業から導かれる課題と今後の方向性

評価(所管課長)
公共施設等の老朽化に伴う施設・設備の更新や、民有地の借用への対応にあたっては、財源の獲得が必要であることから、それぞれの補助メニューに沿った内容で事業立案を行い、積極的な財源の獲得に努めるとともに、地元自治体のニーズに沿った形で補助メニューが形成されるよう防衛省に要請を行っていく。

平成27年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	企画総務部			企画政策課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
3	横田基地関連情報の収集	昭和 58 年	継続	自治事務	直営	
	01	年				
	02	年				
	03	年				
	04	年				
	05	年				
関連課						
基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	17	基地対策	事業番号 3

2.事業の概要

事業内容	横田基地に関する情報の提供や説明を国等に求めます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.成果指標

成果目標	横田基地に起因する航空機騒音などの問題の解決に努める。
------	-----------------------------

4.活動指標

Plan【計画】	平成26年度(現況)	3か年計画		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業内容 事業量等	国等へ情報提供を要請	国等へ情報提供を要請	国等へ情報提供を要請	国等へ情報提供を要請

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成26年度(現況)		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	450H	2人	250H	2人	250H	2人	450H
主事・主任職	0人	0H	0人	0H	0人	0H	0人	0H

②総事業費

事業費の内訳 (単位:千円)	平成26年度(現況)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費	0	0	0	0
人件費(係長職)	2,255	2,520	2,520	4,536
人件費(主任・主事職)	0	0	0	0
総事業費(合計)	2,255	2,520	2,520	4,536
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0
受益者負担額	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0	0
起債	0	0	0	0
一般財源(人件費含む)	2,255	2,520	2,520	4,536
財源内訳(合計)	2,255	2,520	2,520	4,536

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果物 の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者: 市民

Do【実行】 【進行管理】

6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、5.投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか

※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

横田基地及び防衛省北関東防衛局からの情報収集や、横田基地に起因する諸問題について、横田基地周辺市町での情報共有に努めた。

②投入実績

決算の内訳(単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	0	0	0	0	-

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

前年度(今までの状況)	今年度(どういう状態になったか)
横田基地及び防衛省北関東防衛局からの情報収集や、横田基地に起因する諸問題について、横田基地周辺市町での情報共有に努めた。	横田基地及び防衛省北関東防衛局からの情報収集や、横田基地に起因する諸問題について、横田基地周辺5市1町での情報共有に努めた。

②成果指標(目標値)を数値化している場合

対象者(物)	本年度:目標値	本年度:実績値

Check【評価】

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○・・・適切なもの

8.評価

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	評価のポイント	項目の着眼点	課長評価
妥当性 (必要性)	・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か ・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか	施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか	○
効率性 (手法)	・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか	成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか	○
有効性 (成果)	・事業の目標が達成されているか	成果又は効果が表れているか	○

②事業評価(今後の方向性についての視点)

【今後の方向性】	高 [妥当性・有効性]	今後の方向性																								
<table border="1"> <tr> <td>↑</td> <td>B:事業の進め方の改善の検討</td> <td>A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当</td> <td>↓</td> </tr> <tr> <td>←</td> <td colspan="2">C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">↑</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">↓</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">低</td> <td></td> </tr> </table>	↑	B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当	↓	←	C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討		→		D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討				↑				↓				低			高 [効率性]	A
↑	B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当	↓																							
←	C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討		→																							
	D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討																									
	↑																									
	↓																									
	低																									

Action【改善】

事務事業から導かれる課題と今後の方向性

評価(所管課長)
今後も引き続き、国や米軍からの情報収集に努めるとともに、横田基地に起因する諸問題に関して、東京都や横田基地周辺5市1町での情報の共有に取り組んでいく。

平成27年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	企画総務部			企画政策課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
4	航空機騒音、航空機飛行高度などに関する測定	昭和 58 年	継続	自治事務	直営	
	01	年				
	02	年				
	03	年				
	04	年				
	05	年				
関連課	環境保全課					
基本目標	3 ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	17 基地対策	事業番号	4	

2.事業の概要

事業内容	横田基地に関係する航空機の騒音や飛行高度などを測定します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.成果指標

成果目標	横田基地に起因する航空機騒音などの問題の解決に努める。
------	-----------------------------

4.活動指標

Plan【計画】	平成26年度(現況)	3か年計画		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業内容 事業量等	航空機の騒音測定(2か所) 航空機の飛行高度に関する調査研究 ・高度測定を実施するよう国に要請 ・測定手法の検討	航空機の騒音測定(2か所) 航空機の飛行高度に関する調査研究 ・高度測定を実施するよう国に要請	航空機の騒音測定(2か所) 航空機の飛行高度に関する調査研究 ・高度測定を実施するよう国に要請	航空機の騒音測定(2か所) 航空機の飛行高度に関する調査研究 ・高度測定を実施するよう国に要請

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成26年度(現況)		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	50H	1人	50H	1人	50H	1人	50H
主事・主任職	0人	0H	0人	0H	0人	0H	0人	0H

②総事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成26年度(現況)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費	0	0	0	0
人件費(係長職)	251	252	252	252
人件費(主任・主事職)	0	0	0	0
総事業費(合計)	251	252	252	252
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0
受益者負担額	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0	0
起債	0	0	0	0
一般財源(人件費含む)	251	252	252	252
財源内訳(合計)	251	252	252	252

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果物 の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do【実行】 【進行管理】

6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、5.投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか

※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

米軍機の運用における飛行高度において、日米合同委員会合意事項が遵守されているかどうかを把握するための調査を実施するよう、国に対して要請を行った。

- 総合要請(横田基地に関する東京都と周辺市町基地対策連絡協議会)
- 防衛施設周辺整備対策に関する個別要望(防衛施設周辺整備全国協議会)(対 国)
- 平成27年度関係政府機関に対する要望(東京都)(対 国)
- 平成28年度東京都予算編成に対する要望(東京都市長会)

また、市内2か所で騒音測定を実施し、その結果も踏まえ国に対し航空機騒音の軽減や環境負荷の軽減を求め養成を行った。

②投入実績

決算の内訳 (単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	0	0	0	0	-

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

前年度(今までの状況)	今年度(どういう状態になったか)
市は、日米合同委員会の合意事項が遵守されているかどうかを判断する立場にないため、国の責任において、遵守されているかどうかの確認を行うよう要請を行った。	市は、日米合同委員会の合意事項が遵守されているかどうかを判断する立場にないため、国の責任において、遵守されているかどうかの確認を行うよう要請を行った。

②成果指標(目標値)を数値化している場合

対象者(物)	本年度:目標値	本年度:実績値

Check【評価】

8.評価

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○・・・適切なもの

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	評価のポイント	項目の着眼点	課長評価
妥当性(必要性)	・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か ・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか	施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか	○
効率性(手法)	・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか	成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか	○
有効性(成果)	・事業の目標が達成されているか	成果又は効果が表れているか	○

②事業評価(今後の方向性についての視点)

【今後の方向性】	高 [妥当性・有効性]	今後の方向性						
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">B:事業の進め方の改善の検討</td> <td style="width: 50%;">A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当</td> </tr> <tr> <td colspan="2">C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討</td> </tr> <tr> <td colspan="2">D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討</td> </tr> </table>	B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当	C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討		D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討		高 [効率性]	A
B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当							
C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討								
D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討								
	↑ ↓							
	低							

Action【改善】

事務事業から導かれる課題と今後の方向性

評価(所管課長)
米軍機に起因する航空機騒音の軽減やそれに伴う環境の負荷の軽減を求めることや、市民からの問合せが多い米軍機の飛行高度について、国の責任において検証することなどを、引き続き、国に対し要請していきます。

平成27年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	企画総務部			企画政策課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
5	横田基地に関する市民への情報提供	昭和 58 年	継続	自治事務	直営	
	01	年				
	02	年				
	03	年				
	04	年				
	05	年				
関連課						
基本目標	3 ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	17 基地対策	事業番号	5	

2.事業の概要

事業内容	横田基地に起因する様々な問題について、市民への情報提供に努めます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.成果指標

成果目標	横田基地に起因する航空機騒音などの問題の解決に努める。
------	-----------------------------

4.活動指標

Plan【計画】	平成26年度(現況)	3か年計画		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業内容 事業量等	広報紙、市公式ウェブサイト等を活用した情報提供	広報紙、市公式ウェブサイト等を活用した情報提供	広報紙、市公式ウェブサイト等を活用した情報提供	広報紙、市公式ウェブサイト等を活用した情報提供

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成26年度(現況)		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	450H	2人	250H	2人	250H	2人	450H
主事・主任職	0人	0H	0人	0H	0人	0H	0人	0H

②総事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成26年度(現況)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費	0	0	0	0
人件費(係長職)	2,255	2,520	2,520	4,536
人件費(主任・主事職)	0	0	0	0
総事業費(合計)	2,255	2,520	2,520	4,536
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0
受益者負担額	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0	0
起債	0	0	0	0
一般財源(人件費含む)	2,255	2,520	2,520	4,536
財源内訳(合計)	2,255	2,520	2,520	4,536

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果物 の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do【実行】 【進行管理】

6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、5.投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか

※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

横田基地に関する諸問題等への対応や横田基地における訓練に関する情報、防衛省及び米軍等からの情報提供内容について、時機を捉えた情報提供を行った。
また、オスプレイの飛来や配備に関する情報など、国の責任において国自ら市民へ情報提供するよう働きかけを行っている。

②投入実績

決算の内訳(単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	0	0	0	0	-

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

前年度(今までの状況)	今年度(どういう状態になったか)
横田基地に関する諸問題等への対応や防衛省及び米軍等からの情報提供について、時機を捉えた情報提供を行った。	広報紙・市公式ウェブサイトを通じ、横田基地に関する諸問題等への対応、防衛省及び米軍等からの訓練などの情報提供について、適宜行った。

②成果指標(目標値)を数値化している場合

対象者(物)	本年度:目標値	本年度:実績値

Check【評価】

8.評価

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○・・・適切なもの

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	評価のポイント	項目の着眼点	課長評価
妥当性 (必要性)	・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か ・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか	施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか	○
効率性 (手法)	・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか	成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか	○
有効性 (成果)	・事業の目標が達成されているか	成果又は効果が表れているか	○

②事業評価(今後の方向性についての視点)

【今後の方向性】	高 [妥当性・有効性]	今後の方向性									
<table border="1"> <tr> <td>低</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>B:事業の進め方の改善の検討</td> <td>A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当</td> </tr> <tr> <td colspan="2">C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討</td> </tr> <tr> <td colspan="2">D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討</td> </tr> </table> </td> <td>高 [効率性]</td> </tr> </table>	低	<table border="1"> <tr> <td>B:事業の進め方の改善の検討</td> <td>A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当</td> </tr> <tr> <td colspan="2">C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討</td> </tr> <tr> <td colspan="2">D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討</td> </tr> </table>	B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当	C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討		D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討		高 [効率性]		A
低	<table border="1"> <tr> <td>B:事業の進め方の改善の検討</td> <td>A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当</td> </tr> <tr> <td colspan="2">C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討</td> </tr> <tr> <td colspan="2">D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討</td> </tr> </table>	B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当	C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討		D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討		高 [効率性]			
B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当										
C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討											
D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討											
	↑										
	↓										
	低										

Action【改善】

事務事業から導かれる課題と今後の方向性

評価(所管課長)
今後も引き続き、国や米軍から得られた情報等について、迅速かつ正確に市民への情報提供を行っていく。 また、オスプレイの飛来や配備に関する情報などについては、国の責任において、国自ら実施するよう要請していきます。